

11月8日は いい歯の日



お口のケアで感染予防対策



ウィルスと 口腔内について

インフルエンザウィルスが口の中に入ると必ず感染するわけではなくウィルスが粘膜細胞の中に入り込み感染します。お口の中の細菌(特に歯周病菌)の出す蛋白分解酵素はインフルエンザウィルスが入り込むのを手助けしています。インフルエンザウィルスの感染を防ぐためにも歯周病コントロールは非常に有効と考えられます。

全身の免疫力 への影響

身体(からだ)の免疫力はウィルスの感染予防に大きく影響しますが、お口の中の細菌が胃腸に及ぶことで腸内細菌のバランスを乱し、免疫力低下に繋がると言われています。



誤嚥性肺炎 について

高齢になるにつれ口腔内細菌の誤嚥による肺炎(誤嚥性肺炎)を起こしやすくなりますが、ここでさらに新型コロナウイルス感染によって重篤な肺炎を起こしやすくなると言われています。



まとめ

新型コロナウイルスは粘膜からの感染が認められています。お口のセルフケア、プロフェッショナルケアが歯周病菌やその他口腔内細菌を減らし、免疫力を向上させ感染予防と重症化予防に繋がると考えられます。定期的な歯科医院の受診をお勧めします。

口から守るあなたの健康! その先にある笑顔を守りたい

日本歯科医師会 <https://www.jda.or.jp/> 島根県歯科医師会 <https://www.shimane-da.or.jp/>

